

大学院 M1 (流体工学専攻)

君

「船舶流体力学特論」単位認定のご褒美です。
講義では、2章の円柱の起こす波を求めて終わりましたが、この第3章は、その造波作用によって円柱に働く造波抵抗を算定するための解析手法を示したものです。特に、運動量定理による造波抵抗公式の導出と、第2章では崩れていた物体境界条件に対して造波による攪乱流の影響を考慮した圧力積分による2つの方法について、詳細に言及しています。

諸君が、この第3章を読むことにより所謂「造波抵抗理論」の醍醐味を味わって戴くことを期待します。また、ここに現われる数学的な取り扱い、今後君達の専門分野の理論を勉強するときに、何等かの意味で参考になるものと考えます。

